



10/25 お掃除応援隊・消毒ボランティアに感謝状

芳賀中学校の学校ボランティアとして活動する「お掃除応援隊(ボランティアコーディネーター岡田由美子さん(稲毛田))」が、地域の児童生徒の育成に貢献してきたとして栃木県教育委員会から感謝状を受けました。芳賀中学校では、36人のボランティアが消毒や調理のボランティアなどを行っています。



10/27 増淵哲夫さんが全国公民館連合会永年勤続職員表彰

増淵哲夫さん(下高根沢)が、全国公民館連合会の永年勤続職員表彰を受けました。町生涯学習課の公民館職員や生涯学習センター長として、30年という長きにわたり社会教育活動を推進してきたことが評価されたものです。



10/7 町戦没者追悼式

町民会館多目的室で、町戦没者追悼式が行われました。先の戦争で命を落とされた人々に対し、黙とうを捧げました。見目町長、岡田武町遺族会会長から追悼の言葉、町議会小林議長から慰霊の言葉がありました。鎮魂歌を奉唱し、戦没者への思いを込めて献花を行いました。



10/31 東ティモール・ヴィケケ県知事来町

東ティモールから、ヴィケケ県知事が来町しました。町の廃棄物処理業者「ドンカメ」と国際協力機構「JICA」がヴィケケ県で進めている事業の一環で、町のゴミの分別・収集・資源化などの環境対策に視察研修のために訪れたものです。町を表敬訪問したヴィケケ県知事は「芳賀町の環境対策を学びたい」と話しました。



11/3 ロマンの湯リニューアルオープン

ロマンの湯の内装工事が完了し、リニューアルオープンしました。空調や照明、天井などに加え、のれんなどの内装デザインも一新されました。環境省の補助金を活用し、道の駅はがを観光拠点の整備と防災拠点としての強化を行ったもので、太陽光パネルと蓄電池により災害時の避難所として電気の確保ができるようになりました。



9/25~ 町民ソフトテニス大会

(敬称略)  
会場/与能テニスコート  
結果/  
一般の部 優勝 菅谷 和之・増淵 悠冬  
中学生男子の部 優勝 阿久津颯真・塩田一成  
中学生女子の部 優勝 秋田 紅美子・設楽 理莉

はがの文芸

町文化協会では短歌・俳句・川柳の各種講座を開催しています。詳細は町民会館まで  
☎028(677)0009

短歌 「芳賀短歌会」

秋の暮れ稲田の道に虫郡舞  
バイクで走る時に目に入る  
荷見 泰一(芳志戸)

ケータイをスマホに換えて今日からは  
私は魔法使いのサリ  
鈴木 みき(東高橋)

俳句 「町民俳句講座」

裏作の準備に入る小春かな  
稲川 清子(与能)

新刊の句集の句心夜長かな  
大村 かし子(下高根沢)

川柳 「お楽しみ川柳」

若しみに耐えて来たから明日がある  
駿河 富夫(稲毛田)

間違いを認めたくない年に成り  
七井 章治(与能)

農道に細き自転車光らせて  
競輪の人風のごと行く  
岡田 ツヤ子(西水沼)

鉢植えのパッションフルーツ青い実は  
八個もなりて熟すを待ち居り  
佐山 美代子(下高根沢)

男体山白く粧ひ眠りけり  
福武 幸子(下延生)

道鏡の墓所のにぎやか小鳥来る  
光岡 れい子(益子町)

いい季節川のせせらぎ田の青さ  
高松 イク(下高根沢)

生きてゐる証でしよう肩が凝り  
関 ふさ子(宇都宮市)

※「お楽しみ川柳」参加者

あなたの声を聞かせてね！  
お便り待ってます！  
●身近な出来事や町に関する要望・意見

増淵真由美さん(下高根沢)からの投稿  
新美南吉著「手袋を買いに」がとても好きです。この絵本のように、子どもが「自分は幸せ」と感じることは大切です。お母さんに守られていると分かると安心できると思います。言葉の表現も素晴らしく、特に色の表現は、読みながら「どんな色かな」と考えるととても楽しいです。寝る前の読み聞かせにぴったりの絵本だと思います。



鈴木モコさん(西高橋)

芳賀町文化協会会長  
駿河富夫さん(稲毛田)からの投稿  
瀬戸内寂聴さんの著作を読んで  
「供養はお金でできるものではない、金持ちの仏だけがあの世で安らぎ、貧乏人の仏はあの世でも苦しむことになってしまう」ということが書いてありました。生きていれば、お金で買えないことがたくさんあります。「お金があれば何でもできる」そんな考えがある限り、世の中は良くなれないと思うこの頃です。皆さんはいかがですか。



高松イクさん(下高根沢)

高松イクさん(下高根沢)からの投稿  
朝のニュース番組で、褒める教育について特集されていました。褒めることは、自信や成長につながるそうです。ほめるポイントは①ちょうど良いあなばいを期待すること②対一の状況の中でほめることだそうです。叱るより褒めることで、何倍もの効果が得られるはずですよ。  
褒められて うきうき心 隠せない

小林操さん(下高根沢)からの投稿  
今年も、コロナに明けコロナに暮れる1年となりました。一人一人が感染予防をして生活していますが、感染者の数が減らず不安ですね。1日も早く収束して安心安全な生活ができるよう願っています。  
暮れに向かい、家のほこり、こころのほこりを払って新年を迎えたいものです。



穴戸スミ江さん(下高根沢)